

山陰近畿自動車道早期実現促進大会

【開催日時】令和7年11月8日（土） 13:30～15:15

【場所】京都府丹後文化会館 ホール（京丹後市峰山町）

【主催】丹後・地域高規格道路推進協議会（舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）

【後援】京都府、京都府高速道路網整備促進協議会

【内容】オープニング 1 開会宣言 2 主催者挨拶 3 来賓祝辞 4 来賓紹介
5 祝電披露 6 基調講演 7 意見発表 8 大会決議 9 要望書手交
10 がんばろう三唱 11 閉会挨拶

【参加者数】約400人

【来賓】◆国会議員

本田 太郎 衆議院議員、竹内 譲 衆議院議員、西田 昌司 参議院議員、見坂 茂範 参議院議員
堀 憲人 吉井章参議院議員代理

◆国土交通省

齋藤 博之 近畿地方整備局長、西川 昌弘 国土交通省道路局国道・技術課長

西野 毅 近畿地方整備局道路部長、大西 民男 福知山河川国道事務所長

◆京都府

鈴木 一弥 副知事、塩見 豊寿 丹後広域振興局長、石井 宏明 建設交通部長、

采尾 直久 建設交通部理事、傍島 史宗 建設交通部道路計画課長、南郷 篤 丹後土木事務所長

◆京都府議会

荒巻 隆三 議長、中島 武文 議員、森口 亨 議員

◆京都府道路公社

藤森 和也 理事長、西村 祥一 常務理事

◆京都府土地開発公社

大石 耕造 理事長

◆但馬・地域高規格道路推進協議会

門間 雄司 豊岡市長

大会決議（概要）

今年度の促進大会では、4月に山陰近畿自動車道の料金徴収が始まったことを受け、見える形で整備加速化が実現されるよう、強い決議が満場一致で承認され、国府の関係者へ強く要望しました。

一.令和10年代の府県境までの具体的な整備計画を立てた早期全線整備

一.網野ICから府県境区間の早期ルート確定と全線の都市計画決定

一.大宮峰山ICから網野IC間について、事業化の前倒しとなる文化財調査を令和7年度から開始、令和8年度には事業化

一.大宮峰山道路とアクセス道路について、有料事業計画に基づき令和8年度までの完成に必要な予算措置

一.「第1次国土強靱化実施中期計画」及び国土強靱化関係に係る予算・財源の別枠確保

一.B/C だけでは測れない効果も踏まえ、事業の必要性を適切に評価する仕組みの構築

一.地方整備局等の体勢の充実・強化、必要となる資機材の更なる確保

【オープニング】JOY DANCE FACTORY



【主催者挨拶】会長（京丹後市長）中山 泰



事業全体の最大限の加速化をどうしてもお願い申し上げたい。この4月から有料化がスタートしており、3年前地元として有料化についてギリギリの受け止めをし、事業加速化を望んでいる。山陰近畿自動車道は、三方が海である丹後半島において防災・減災を支える道路ネットワークの根幹であると同時に、日本海国土軸の一翼を担う広域連携ネットワークを形成する決定的死活的に重要な道路だが、現在は日本海側唯一の高規格道路網のミッシングリンクとなっている。また、陸海空の各自衛隊、米軍のサイトの、海上保安庁など、この道路周辺地域に展開し、これら機能の保全を考えていく上でも、住民と国民の生命と生活を守る「命の道」であり大切極まりない国益を有し、早期全線供用は待ったなしの状況。諸物価高騰、ガソリン暫定税率の廃止などの影響が懸念される中、道路整備に関する国全体の抜本的な予算確保をお願いしたい。

【来賓祝辞】



衆議院議員
本田 太郎 様

道路予算はここ数年、横ばいの状態であり、これを増やし、少しでも、事業が前に進むよう、力を尽くしたい。京都府の進捗率は、兵庫県や鳥取県と比べると低い。京都府に力点を置いていただこう。皆さんと力を合わせて頑張っていきたい。



衆議院議員
竹内 譲 様

道路事業は建設国債を発行して積極的に進めるべき。日本海文明を作るのがこの山陰近畿自動車道であり、山陰新幹線と併せてこの道路を早く作り、京丹後をはじめとする日本海側の文明を創出していきたい。皆さんと力を合わせて頑張っていきたい。



参議院議員
西田 昌司 様

プライマリーバランス黒字化目標に縛られインフラ整備がこの30年でできなかったが、現政権下において流れが変わっている。このチャンスを生かして、1日も早く全線が開通できるように、全力で皆さんと一緒に働いてまいります。



参議院議員
見坂 茂範 様

兵庫県は山陰近畿自動車道整備を急ピッチで進めている。丹後の発展のためには、兵庫県境、鳥取までつなぐというのは極めて大事。そのためには道路予算の獲得が重要であり、府選出の国会議員と、力を合わせて、1日でも早く全線開通するように頑張っていきたい。



京都府副知事
鈴木 一弥 様

山陰近畿自動車道の全線開通は京都府にとって長年の悲願。有料化に伴い徴収した料金は、早期整備に必要な財源として活用し取り組みを加速化する。第一次国土強靱化実施中期計画予算の最大限の確保を国に要望するなど、全力で取り組みます。

【基調講演】

道路行政を取り巻く最近の情勢について

国土交通省近畿地方整備局長 齋藤 博之 様



【主な項目】

- ・公共事業関係予算と直轄事業予算の推移
- ・第1次国土強靱化実施中期計画
- ・ミッシングリンク（山陰近畿自動車道）の早期整備
- ・期待されるストック効果
- ・道路法の改正について

道路関係予算については近年横ばい、国土強靱化に係る予算を活用することが重要。山陰近畿自動車道のようなネットワーク整備のためにはこの予算が必要。これまで以上に、地方の実情など予算確保が必要なことを中央へ伝えることが大切。全国的にもミッシングリンクが存在しており、山陰近畿自動車道も未整備区間として残っており、早期に繋げていく必要がある。第1次国土強靱化実施中期計画の道路関係では京丹後とも関係の深い道路の雪害対策の推進や、道の駅の防災機能強化、道路橋梁の耐震機能強化が新たに追加されている。

【意見発表】

三省工業株式会社 代表取締役社長 蒲田 崇二郎 様



弊社は、製造環境、物流効率の向上のため、大宮IC付近の工業団地へ進出を決めました。山陰近畿自動車道の整備が早期に進むことで、新たな利便性が生まれ、弊社と同様に新たに意欲的に活動する方々が多く生まれるものと信じております。山陰近畿の発展のため是非とも早期全線開通に向け、ご尽力をよろしくお願いいたします。

株式会社小谷常 代表取締役社長兼女将 小谷 奈穂 様



高速道路の延伸によって、医療搬送の時間短縮にもつながり、地域の安心感が高まっています。私たちの観光業にとっても、山陰近畿自動車道の全線整備は不可欠です。お客様が安全で快適に丹後に訪れ、地域で働く人が安心して暮らせる環境が整ってこそ持続可能な観光と地域づくりが実現します。どうか未来を担う子供たち、そして地域で懸命に生きるすべての人のために、山陰近畿自動車道の早期実現と、さらなる整備を心からお願い申し上げます。

【決議文採択】 監事（京丹後市議会議長）中野 勝友



山陰近畿自動車道は、日本海国土軸を形成する道路であり、地方創生及び国土強靱化の実現に欠かせない重要な幹線道路である。丹後地域においては、高速道路の整備による多大なストック効果が表れている。地方創生2.0を最大限、加速前進させていくためにも、ミッシングリンクの解消は必要不可欠である。早期全線整備が進められるよう次の事項を要望する。

【閉会挨拶】 副会長（与謝野町長）山添 藤真



本日の大会を通し、皆様方と心を1つにし、この道路の早期実現を図り、将来を生きる子供たちに、豊かなこの丹後を渡していく、その決意を共有することができたものと承知をしております。これから多少し長くかかるかもしれない本道路。皆様方の熱意、そして情熱をいただかなければ実現をいたしません。皆様方のこれからのご協力、お願いを申し上げ、本日の促進大会の閉会といたします。

【要望書手交】



左から 肝付舞鶴市議会議長、西川道路局国道技術課長、中野京丹後市議会議長、堀吉井参議院議員代理、山添与謝野町長、見坂参議院議員、城崎宮津市長、竹内衆議院議員、中山京丹後市長、本田衆議院議員、吉本伊根町長、西田参議院議員、福田舞鶴市副市長、鈴木京都府副知事、松浦宮津市議会議長、齋藤近畿地方整備局長

【がんばろう三唱】 発声：副会長（伊根町長） 吉本 秀樹



発声は吉本伊根町長、左から 肝付舞鶴市議会議長、西川道路局国道技術課長、中野京丹後市議会議長、堀吉井参議院議員代理、山添与謝野町長、見坂参議院議員、城崎宮津市長、竹内衆議院議員、中山京丹後市長、本田衆議院議員、西田参議院議員、福田舞鶴市副市長、鈴木京都府副知事、松浦宮津市議会議長、齋藤近畿地方整備局長

【ご祝電】

参議院議員
吉井 章 様

山陰近畿自動車道早期実現促進大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。
中山泰会長をはじめ、関係各位におかれましては、平素より、日本海国土軸の形成、リダンゲンシー確保のため、多大なご尽力を賜り、心より敬意と感謝を表します。
我々としても日本海側地域の発展のみならず、顕発化、激甚化している自然災害の際の、安心安全の確保の為にも大変重要と考え、全力を尽くして参る覚悟でございますので今後ともよりお願いいたします。
結びに、本日の促進大会を契機に、今後より強力に活動が展開されますことと、あわせて、貴会の益々のご発展と、本日もご参集の皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。



参議院議員
自由民主党国会対策委員長
吉井 章

参議院議員
阿達 雅志 様

山陰近畿自動車道早期実現促進大会のご盛会をお慶び申し上げます。
日頃より関係各位の事業の推進に対するご尽力に、まことに深く敬意を表します。
本事業の整備は、地域間の交流促進はもとより観光振興、物流の効率化、防災力の向上など地域の持続的な発展に極めて重要であり、今後とも着実な事業の推進が図られますことを念願して止みません。
本事業の早期実現と本日ご参集の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、お祝いの一いさご致します。
参議院議員 阿達 雅志
全国比例区

鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会
深澤 義彦 様

山陰近畿自動車道早期実現促進大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。
山陰近畿自動車道は、鳥取市と宮津市を結び、鳥取自動車道、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道とともに鳥取県東部、兵庫県北部及び京都府北部の広域ネットワークを形成する重要な道路であり、また激甚化する風水害や南海トラフ地震等、大規模災害時にリダンゲンシー機能を果たす「日本海国土軸」の形成を担う道路でもあります。
加えて、コロナ禍で浮き彫りとなった東京一極集中による弊害を是正するためにも、その早期整備は「地方創生」及び「国土強靱化」の取り組みを更に進めていくための必要不可欠であります。鳥取県内においては現在、県内唯一の未事業化区間である鳥取、豊岡間の都市計画決定に向けた手続きが進められており、早期の事業化に大きな期待を寄せているところです。
本協議会としても、山陰近畿自動車道のさらなる整備促進に向けて皆様とともに取り組んでまいりますので、皆様方にはさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、山陰近畿自動車道早期実現促進大会のご盛会とともに、本日もお集まりの皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

令和七年十一月八日
鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会
会長 鳥取市長 深澤 義彦